

①施設の長寿命化

- 法定点検・日常点検の結果及び老朽化状況に基づく予防保全の実施
- 原則として、通常の建物は80年まで建物寿命の延伸を目指す。
- 将来統合予定の建物の長寿命化は実施しない。
- 個別計画に位置付けていない普通財産の改修、長寿命化は原則として実施しない。

②施設の維持管理コストの縮減及びPPP(官民連携)の推進

- 郡山市PPP(官民連携)推進指針、PFIガイドライン(H29年3月策定予定)に基づく実施
- ↓
- ・改修や更新の整備手法は、VFM分析に基づきPFIを検討
- ・改修や更新時期に合わせ、包括業務委託、指定管理制度などを検討(特に集会施設、歴史・シンボル施設、図書館関係、スポーツ施設など)

④利用者の安全確保

- 老朽化等により危険性が認められた施設は速やかに応急措置や早期の除却等を検討
- 耐震化未対応の施設は、重要性に応じて耐震化対応の検討を進める。
- 耐震化未対応又は老朽化が進行している施設は、最適化の検討を優先的に進め、利用者の安全確保を図る。

③施設の最適化方針

(施設類型別の方針)

【耐震化未対応・老朽化施設の優先検討】

- 耐震化未対応又は築50年以上の施設は、安全性の観点から平成37年度までに整備方針の検討を開始

【更新の制限等】

- 大規模改修や更新時期に合わせ最適化を検討
- 施設の更新は原則として既存施設の規模の範囲内とし、新設する場合は既存施設の整理を前提に検討
- 現在は需要があっても長期的に利用需要の減少が見込まれる施設はリース等を活用

【複合化・集約化の方針】

- 施設利用需要が低い施設は、多機能化・集約化・廃止等を検討
- 貸館を主な機能とする施設は多機能化の推進を検討
- 学校を「地域の核」として、安全性に配慮しつつ複合化を推進

人口維持・増加地域

- ・学校へ複合化できない場合はその他の大規模施設との複合化を検討
- ・集約化により未利用となった施設の建物・土地は売却・賃貸による収入確保を検討

高齢化・人口減少地域

- ・優先的に地域単位で最適配置を検討
- ・集約化により未利用となった大規模施設(廃校など)の建物は、他の集約・多機能化施設への活用を検討

【学校】

- 将来の児童数減少を見据えた施設のあり方を校区の再編や適正規模・適正配置に基づき2020年度までに検討
- 他施設類型(放課後児童クラブ等、集会施設など)との複合化を行いつつ、防災や地域コミュニティの核として整備

【保育所】

- 他施設類型(学校、行政施設など)との複合化のほか、財源の多様化を図る中で民間活用も検討

【子育て施設】

- 他施設類型(学校、保育所など)との複合化や類似機能(相談業務等)の集約化を検討

【放課後児童クラブ等】

- 将来的に学校と複合化することを前提に検討
- 当面複合化が困難な場合は、リース等を活用

【福祉・医療施設】

- 将来的には財源の多様化を図る中で民間活用も検討(ひまわり荘、障がい者施設など)

【防災施設】

- 消防団の現状を踏まえた消防車庫詰所等の統合のほか、他施設類型(行政施設など)との複合化を検討

【庁舎等】

- 他施設類型を含む周辺施設との複合化を検討

【集会施設】(公民館等)

- 他施設類型(学校、行政施設など)との複合化や類似機能(貸館等)の集約化を検討
- 施設の利用形態・利用状況を踏まえ、民間活用も検討

【集客施設】

- 他施設類型(集会施設、スポーツ施設、庁舎等、その他施設など)との複合化や類似機能(貸館等)の集約化を検討
- 冬季閉鎖する小規模施設等(脱衣所等)はリース等の活用を検討

【スポーツ施設】

- 他施設類型で同機能を有する施設の設置状況や地域間のバランス等を踏まえ最適化を検討

【図書館】

- 貸館機能は周辺地域の施設との集約化を検討

【歴史・シンボル施設】

- 多機能化・集約化を検討(収納庫など)

【その他施設】

- 周辺施設との複合化・多機能化を検討(保健所、園芸畜産振興センター、高等職業能力開発校など)
- 給食センターは集約化を含め検討
- デイ・サービスセンターは、財源の多様化を図る中で民間活用も検討

【公衆便所】

- 利用状況や必要性を踏まえ、最適化や適切な維持管理方法を検討

【市営住宅】

- 老朽化が著しい施設、耐震化未対応の施設は最適化を早期に検討
- 他施設類型(図書館、医療・福祉施設、その他施設)との複合化を検討

【清掃関係施設】

- 廃棄物の発生状況を踏まえ、適正規模を検討

【公園】

- 近隣の公共施設の機能を踏まえ、必要な機能を精査
- 都市公園法の改正を踏まえ、他施設類型との複合化や資産活用についてさらに検討

【水道施設】

- 中長期始点から、施設・設備の廃止・統合(ダウンサイジング)や性能の合理化(スペックダウン)を検討

【下水道施設】

- 中長期始点から、施設・設備の廃止・統合(ダウンサイジング)や性能の合理化(スペックダウン)を検討
- 農業集落排水処理施設から公共下水道への接続替えについて、費用対効果を勘案しながら検討

【道路・橋梁】

- 道路は認定基準に合致しない路線を整理
- 橋梁は老朽化が進み、利用者が極端に少ないものについて集約等を検討